

さあ、始めよう

ずいぶん長い間お待たせしましたが、いよいよ学校再開です。



「さあ、始めよう！」

思い浮かべる学校生活は、「あれもやるぞ」「これもできるぞ」の期待でしょうか。

それとも、「やれるだろうか」「気が重い」そんな不安でしょうか。もし、そんな心配

そうなかなかまがいたら、どうか背中を押して 手を取って 声をかけて まだ起き上がれない友達の

横に立って一緒に進みましょう。苦しい時間をくぐりぬけ、これから歩むみなさんの前に広がる世界、

それはきっと「希望」です。

春風や 闘志いだきて 丘に立つ

“春風”などと、今回も少し時季外れになってしまっ

て申し訳ありません。でも、春の始業式や入学式など、

物事を始めるときによく紹介していた句で、明治の

俳人、高浜虚子の作品です。

小高い丘の上で背筋を伸ばし凜として立ち、風を

正面から受け、髪を後ろになびかせながら、“きっと”決意と意欲を胸に秘め、澄んだ目で前をしつ

かりと見据えている。そんな若者の姿を思い浮かべます。



そう、これから始まる新しい生活を前に、みなさんの姿もそうであるように。

そして、学校はそんなみなさんを応援し支えています。

今年ならではの思い出に残る学校生活を創造していきたく

いですね。共にしっかりと頑張りましょう。

今だからこそ

今までの日常がすっかり変わってしまった現在の生活。その中から何を読み解くか。新聞に寄稿されたある一説を紹介します。

見過ごしてきたもの、さらにいえば、ひた隠しにしてきた、その最たるもの、それが「弱さ」だ。私たちは、身体はもとよりその内面、さらには人間関係における「弱さ」を受け入れざるを得ない場所に立っている。(中略)「弱い」立場に立ってみなければ「弱い人」は見えてこない。さらに言えば「弱い人」の多くは、人の目の届かないところにいる。精神科医でもあった神谷美恵子の主著『生きがいについて』の冒頭の一節だ。

「平穩無事な暮らしにめぐまれている者にはとってはとっても思い浮かべることさえむずかしいかもしれないが、世の中には、毎朝目がさめるということが恐ろしくてたまらない人があちこちにいる。ああ今日もまた一日を生きていかなければならないのだという考えに打ちのめされ、起きだす力も出てこない人たちである。」神谷がいうような「弱い人」が「あちこちに」いることを、私たちが認識できていたならば、社会は現状とはまったく違った姿をしていたのではないだろうか。

今は、「助ける」だけでなく、「助けられる」ことを学ぶ契機でもある。「弱い人」は、助けられるだけの人ではない。社会の底に横たわる「いのち」の尊厳という根本問題を照らし出すものとして存在している。

(中略)

支援はどんな時も「いのち」への尊厳を伴う形で行われなくてはならない。

この未曾有の経験をしている子どもたちは、そこから何を感じ取ることなのでしょう。このような社会にいる今だからこそ、人の、そして己の「弱さ」も見つめなおし、そこから「自分が苦しい時こそ人のことを思いやれる心を」、そして、「だからこそ人を守ることが自分も守ること」なのだと、一人ひとりの「いのち」の尊厳を考え感じる機会にしたいものだと思います。

学校では、引き続き人権の大切さを学びながら、あわせて生徒の心のケアも行っていくことにしています。何か、お子様の心の健康に不安やご相談があれば、学校にご連絡ください。

6月の学校行事について

(今後も状況によって変更される可能性があります)

- 6月 1日(月)～5日(金) 午前中授業 給食あり 教育相談週間
- 5日(金) 部活動発会式
- 8日(月) 部活動再開
- 10日(水) 生徒会専門委員会
- 11日(木) PTA役員会 19:00 PTA評議員会 19:30
- 12日(金) スクールカウンセラー来校 3年生進路保護者会 15:00
- 16日(火) 1年生発育測定 生徒会専門委員会
- 19日(金) 1・2・3年生統一テスト
- 23日(火) 1年生交通安全教室
- 26日(金) スクールカウンセラー来校
- 7月 2日(木) 3年生実力テスト

